



The Outdoor Company™

FRONTIER™ PZ LANTERN

フロンティア™ PZ ランタン

取扱説明書

ご使用前にこの説明書を必ずお読みいただき、正しくお使いのうえ大切に保管してください。

保証書付

保証書はこの取扱説明書の末尾についています。



屋外専用・室内使用禁止

製品を正しくお使いいただくため及び、あなたや他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|-----------|---|
| 警告 | この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。 |
| 注意 | この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。 |

絵表示について次のような意味があります。

- 一般的な禁止
- 一般的な注意
- 必ず行う
- 接触禁止
- 火気禁止

警告 安全のために必ずお守りください。

ガスカートリッジ(容器)の取扱について

1. 以下のような使い方は厳禁！ガスカートリッジ(容器)が過熱し爆発の原因となります。

●風防、鉄板や岩などで囲うような使用

禁止



●他のコンロ・火気・焚火のそばでの使用

禁止



●その他、ガスカートリッジ(容器)が過熱するような行為

2. ガスカートリッジ(容器)は熱気のある所に放置しないでください。

●ガスカートリッジ(容器)はファンヒーターの前など熱気のある場所に放置しないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。

禁止



3. ガスカートリッジ(容器)を火中に投げないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。

禁止



4. ガスカートリッジ(容器)は火気の近くや直射日光(室内や車内の窓際など)の当たる場所等40℃以上になる場所に放置しないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。

禁止



5. ガスカートリッジ(容器)は風通しの良い湿気の少ない40℃以下の場所に容器キャップをはめて保管してください。また器具使用後は必ずガスカートリッジ(容器)を取り外して別々に保管してください。

必ず行う

6. 使用済みガスカートリッジ(容器)の処理について
使用済みガスカートリッジ(容器)は、キャンプ場等に放置せず必ず持ち帰り、下記の要領に従って処分してください。

●ガスカートリッジ(容器)は完全に使い終わってから、各自自治体の指示に従って捨ててください。

必ず行う

●ガスカートリッジ(容器)にまだガスが残っている場合は、使い切ってから捨ててください。ガスカートリッジ(容器)を振ってサラサラと音のする場合には、まだガスが残っています。そのまま温度の高い所に放置したり、火中に投入すると爆発し危険です。

必ず行う



使用場所の注意

1. 屋外専用です。使用中は多量の酸素を消費しますので、窒息や中毒を起こすおそれがあります。その為、家の中、テントの中、車の中もしくは換気の不十分な場所では絶対に使用しないでください。

禁止



2. 使用中は多量の酸素を消費します。換気には充分注意してください。

禁止

3. エアコンの室外機の吸い込み口付近では使用しないでください。燃焼の妨げになります。

禁止



4. 風の強い所での使用は避けてください。風で火が吹き消される事があり危険です。

禁止



5. 設置面が安定していて、水平な所に置いてご使用ください。斜めに置くとランタンが倒れる恐れがあります。

必ず行う



注意 安全のために必ずお守りください。

ガスカートリッジ(容器)の取扱について

1. ガスカートリッジ(容器)に表示してある注意事項を良く読んでからご使用ください。

必ず行う

●保管してあるガスカートリッジ(容器)はときどき点検してさびが発生している場合にはできるだけ早く使用してください。

必ず行う

●ガスカートリッジ(容器)にLPガスの再充填はできません。

禁止

2. ガスカートリッジ(容器)のガスを故意に吸い込むことは禁止。酸欠の原因となります。

禁止

3. ガスカートリッジ(容器)に、強い衝撃を与えないでください。変形するとランタンにセットできなくなったりガス漏れの原因となります。

禁止



4. 燃えやすい物から上部1.2m、周囲は50cm以上離してご使用ください。特にテント、スリーピングバック、干してある洋服等の近くでは使用しないでください。

禁止



5. 火をつけたまま器具の使用場所を離れたり就寝しないでください。火災など思わぬ事故の原因となります。

禁止



6. ランタンを使用中、近くに予備のガスカートリッジ(容器)やヘアスプレーなどを放置しないでください。熱でスプレー缶等の圧力が上がり爆発の原因となります。

禁止



7. ヘアスプレーなど、引火のおそれのあるものを近くで使用しないでください。火災の原因となります。

禁止

4. 使用時の点火・使用後の消火のほか、使用中も時々、正常に燃焼していることを確認してください。

必ず行う

使用上の注意

●ランタンを衣類の乾燥やストーブのかわりなど照明以外の用途に使用しないでください。衣類が落下するなど火災の原因となります。

禁止



●使用中や使用直後は、ベンチレーター・ガラスグローブ等は高温になっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。後片づけをする場合は、器具が完全に冷えてから行ってください。

接触禁止



●使用の際は特にお子様に注意してください。器具を保管する場合も幼児・子供等の手の届かない所に保管してください。

接触禁止

●点火するときは顔や手をランタン付近に近づけないでください。

接触禁止

●万一異常音、異常臭、赤火など起こした時や緊急の場合は、あわてず器具栓ツマミを右方向(OFF)に回して消火し、ガスカートリッジ(容器)を本体から取りはずしてください。

必ず行う

●「故障・異常の見分け方と処置の方法」を参照し指示に従ってください。

必ず行う

●ランタンハンガー等で吊るして使用する時はしっかり固定されていることを確認してください。落下しますと思わぬ事故の原因となります。風や振動に注意してください。

必ず行う

ガラスグローブ破損時の注意

●万一落下等によりガラスグローブが破損した場合は、けがなどないように注意してください。また、割れた破片は各自自治体の指示に従って処理してください。

ガスカートリッジ(容器)はコールマン純正LPガス燃料230g/470g(Tタイプ専用容器/レギュラー缶)をご使用ください。スーパー缶はご使用になれません。

コールマン製品ではガス燃焼器具とガスカートリッジ(容器)を一体化した状態で設計、品質管理を行なっています。性能・安全を維持する為にもコールマンTタイプ専用ガスカートリッジ(容器)をご使用ください。

必ず行う

火災予防の注意

1. ランタンの下に段ボール紙など燃えやすいものや熱に弱いもの(ビニールクロス)を敷いたり通風のさまたげになるものを置かないでください。火災の原因となります。

禁止



2. 上から物が落ちる恐れのある場所等で使用しないでください。火災の原因となります。

禁止

物が落ちる恐れのある場所



3. 点灯したままの持ち運びは禁止。転倒するとやけどや火災の原因となります。

禁止



ガス事故防止

1. ガスカートリッジ(容器)がセットされていて、着火していないのに器具栓ツマミが右(←)方向に回らない状態以外の位置にあると、ガス漏れを起こし危険です。充分にご注意ください。

注意

2. ガスカートリッジ(容器)は正しく装着してください。

●ガスカートリッジを正しくセットしないと、ガスが漏れて火災の原因となります。詳しくは「点火の準備」を確認してください。

必ず行う

●ガスカートリッジ(容器)の取り付け、取り外しの際には少量のガスが漏れます。周囲に使用中の燃焼器具や火の気がないことを確認してから行ってください。

禁止

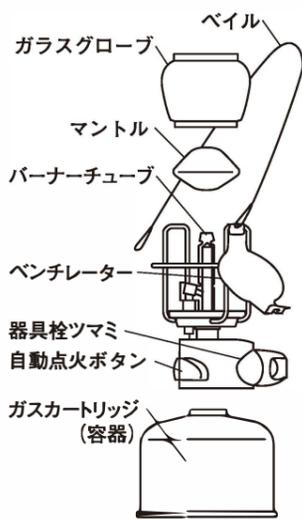


3. 使用中、玉ねぎの腐ったようなにおいがしたら、ガス漏れを起こしています。すぐに換気を充分にしてください。LPガスは比重が重く下部にたまりやすいため、ガス漏れに気付いたときは、絶対に火をつけたら電気製品のスイッチを入れたり、火気の使用をしないでください。引火による爆発の恐れがあります。

●使用をやめガスカートリッジ(容器)をはずしてください。

火気禁止

各部の名称



注意 ① 点火の前に必ず確認してください。

●ガラスグローブが確実に取り付けられていないと本体が異常過熱し、ガスもれやカートリッジ(容器)の破裂の原因となります。ガラスグローブは図のようにしっかりと奥まで取り付けてください。

- ① マントルに触れないように垂直にガラスグローブを差込んでください。
- ② ワイヤースプリングがカチッと音がするまで、ガラスグローブを奥まで押し込んでください。ガラスグローブが台座にしっかりとハマっていることを確認し、ベンチレーターを取り付けてください。



●本体上部と下部の結合部分にゆるみがあると、ガスもれの原因となります。矢印の方向に止まるまでねじ込んでゆるみがないことを確認してください。

1 点火の準備 ① 屋外の火の気のない所で行ってください。

- ① プラスチックケースからランタン ③ 器具栓ツマミが右本体を出してください。(+)方向に止まるまで回っていることを確認してください。
- ② 本体下部のカートリッジ接合部にある“O”リングに損傷がないことを確認してください。



- ④ カートリッジ(容器)を水平にして、接合部に対して垂直に自然に止まるまでねじ込んでください。

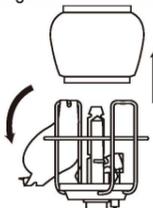
注意

- 亀裂 ひび割れ (Crack/Chips)
 - ささくれ (Splinter)
 - 硬化 縮み (Hardening/Contraction)
- “O”リングに異常(亀裂、破損、硬化、縮み、未装着等)がある場合は、お買い求めの販売店にて交換・修理を依頼してください。
- ガスカートリッジ(容器)を取り付ける際は、無理矢理押し込んだり、斜めに押し込んだりすると接合部を損傷するおそれがあります。
- ガスカートリッジ容器のふたは捨てずに保管してください。ガスを使い切らなかった場合、保管につかいます。

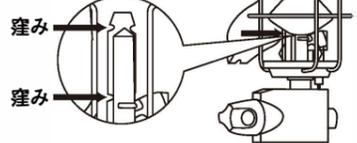
2 マントルの取付け

① 必ず、コールマン純正マントル(ルモ型)をご使用ください。

- ① ベンチレーターをはずしてガラスグローブを垂直に引き抜いてください。

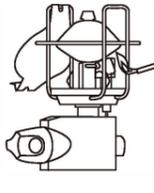


- ② バーナーチューブにマントルをかぶせて、上下を所定の窪みに合わせてセットしてください。
※マントルはふくらむように取付けてください。



3 カラヤキ ① 取り付けしたマントルは、点火前に燃料をださずに燃やし、灰状にしてください。

- ① マントルを下部から均等に火を付けて、完全に灰状になるまで燃やしてください。



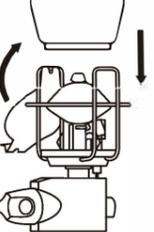
注意

マントルは消耗品です。常時予備のマントルをご用意ください。穴のあいたマントルをそのまま使用するとグローブの破損または異常過熱の原因となります。

カラヤキ時の注意

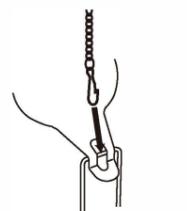
- カラヤキしたマントルは、もろくなり強い衝撃や指先でも簡単に破損します。
- カラヤキの途中や、カラヤキせずに点火すると、縮みが激しく、いびつな形状で小さくなってしまいます。必ず、完全にカラヤキしてから点火してください。
- 片寄ったカラヤキは、マントル破損の原因となります。下部から均等に火をつけてください。

- ② ガラスグローブ、ベンチレーターの順に元に戻します。



4 ベイルの取付け

- ① 図のようにベンチレーター凹部のプロテクションガードに取付けてください。



5 点火 ① 必ず、屋外の火の気のないところで操作してください。

- 器具栓ツマミを左(+)方向にすこし回してガスを出し、自動点火ボタンを数回押しして点火します。



- 自動点火ボタンを数回押ししても点火できない場合は、図のようにマッチ等をグローブとベンチレーターの間から挿し入れて点火してください。



注意

- 数回点火ボタンを押しても点火しない場合は、数分おいてから再度行ってください。すぐ点火作業を行うと、グローブ内にガスが充満しており、危険です。
- 点火しない場合は、器具栓ツマミを右(-)の方向に回らなくなるまでまわしてください。確実に(-)になっていないと、ガスもれを起こし危険です。必ず着火を確認してください。

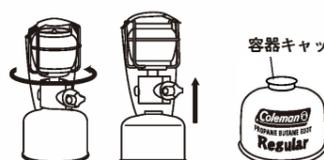
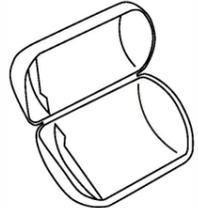
6 光量調整と消火

- 左(+)方向に器具栓ツマミを回すと明るくなり、右(-)方向に回すと暗くなります。
- 消火は器具栓ツマミを右(-)方向に止まるまで回してください。



7 収納 ① 必ず本体が完全に冷えてから作業を行ってください。

- ① 器具栓ツマミが右(-)方向に回らない状態にあることを確認してください。
- ② ガスカートリッジ(容器)を水平にして本体を左に回して取り外してください。ガスカートリッジ(容器)は、側面に書いてある注意を参考に低温・低湿の場所に保管してください。
- ③ ランタン本体は、プラスチックケースに入れ、保管してください。



日常の点検・お手入れの方法

- ご使用後はそのつど必ずお手入れをしてください。
- 点検・お手入れは、必ずガスカートリッジ(容器)を取り外して、ランタンが充分冷えてから行ってください。
- 故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。ご家庭での修理は危険ですので、お買い求めの販売店までご連絡ください。

点検とお手入れのポイント

| 本体 | 自動点火装置およびその周辺 | ガラスグローブ |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)をしみこませた布で汚れを充分にとった後、お湯でしぼったきれいな布で、もう一度ふいてください。 ※シンナー、ベンジン、みがき粉、ナイロンタワシ、金属性のタワシなど、傷がつきやすいものは使用しないでください。 ※本体の丸洗いは絶対にしないでください。 | <ul style="list-style-type: none"> ●電極部の汚れは、点火不良の原因になります。乾いた布でふき取ってください。(この時、電極部の位置を動かさないようにしてください。) | <ul style="list-style-type: none"> ●ガラス用クリーナーを使って汚れをふきとった後、乾いた布でもう一度ふいてください。 ※ガラスグローブは割れやすいので取扱いは充分注意してください。 |

長時間使用しないとき

1. ガスカートリッジ(容器)をランタンから必ず取りはずし、器具栓ツマミを右(OFF)の方向に止まるまで回してください。
2. ベンチレーター、本体などが汚れていないか、よく乾いているかを確認してください。
3. ランタンの各部が充分冷えてから、点灯部を本体に収納し、湿気の少ない所に保管してください。
4. グローブはガラス製です。保管には充分ご注意ください。
5. ガスカートリッジ(容器)は、容器キャップをつけ、風通しのよい、湿気の少ない40℃以下の場所に保管してください。
6. 幼児、子供の手の届かない所に保管してください。
※長期間ガスカートリッジ(容器)を保管していたり、保管状態が悪いとサビが発生し、ガスもれの原因となることがあります。ときどき点検してください。ガスカートリッジ(容器)は古いものから使用し、早めに使いきってください。

仕様

| | |
|--------------------------------------|-----------------|
| 品名: フロンティア™ PZ ランタン | 点火方式: 圧電点火方式 |
| 型式: 203536 | 重量: 約200g(本体のみ) |
| 外形寸法: 約10×7.5×13.0(H) mm(使用時) | ガス消費量: 約38g/h |
| 使用ガスカートリッジ(容器): コールマンタイプ専用容器(レギュラー缶) | |

故障・異常の見分け方と処置の方法

| 現象 | 原因 | 専用ガスカートリッジ(容器)を使用していない。 | バーナー炎口部の目づまり汚れ。 | ノズル部の目づまり。 | 点火操作が不適切。 | 器具栓の故障。 |
|------------------------|----|----------------------------|--------------------|------------|------------------|------------|
| ガスカートリッジ(容器)が取り付けられない。 | | ○ | | | | |
| 点火しない(しにくい)。 | | | ○ | ○ | ○ | |
| 炎が安定しない。 | | | ○ | ○ | | ○ |
| 火力が弱い。 | | | ○ | ○ | | ○ |
| 消火しない。 | | | | | | ○ |
| 処置方法 | | コールマンタイプ専用容器を使用する。(レギュラー缶) | 目づまりをとる。点検修理を依頼する。 | 点検修理を依頼する。 | 取扱説明書を読んでから再度行う。 | 点検修理を依頼する。 |

※以上の事項をご確認の上、それでも不都合な場合、あるいはご不明な点がある場合は、お買い上げの販売店に保証書を添えて点検・修理をご依頼ください。

アフターサービス

- お買い上げいただきました製品には万全を期しておりますが、万一不備な点がございましたらお買い上げの販売店、もしくは下記までご連絡ください。



コールマンジャパン株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル
お問い合わせ先 0120-111-957

コールマン製品保証書

No.203536

| | | |
|-------|--------------------|--------|
| お客様 | ご芳名 | 様 TEL. |
| | ご住所 | |
| 取扱販売店 | 店名・住所・電話番号 | |
| | お買上げ日 | |
| 保証期間 | 年 月 日より 1年間 | |

本書は、本書記載内容にそって無料修理をお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、製品に本書を添え、お買い上げの販売店にご依頼ください。お買い上げ年月日、販売店名などの記入もれがあると無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。また、お買い上げいただいた時のレシート、領収書を添付して保管ください。ご転居、ご贈呈などでお買い上げの販売店に修理依頼できない場合は、最寄りのコールマン製品取扱店にご依頼ください。本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

1. 取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店、または当社が無料修理いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 本書のご提示がない場合。
 - (ロ) 本書に、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
 - (ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障、損傷。
 - (ニ) お買い上げ後に、落とされた場合等による故障、損傷。
 - (ホ) 火災、公害および地震、風水害、塩害その他天災地変等、外部に要因がある故障、損傷。
 - (ヘ) 指定外の燃料使用による故障、損傷。
 - (ト) マントル等の消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
3. 保証期間経過後の有料修理は、お客様のご希望により、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

お買い上げレシート添付場所